患者さんを看取ってくださった医療関係者、近くで看取れなかったご家族のために

新型コロナウィルス蔓延に伴い、これまでとは全く違う状況の中で患者さんを看取ってくださった医療関係者のみなさま、近くで看取ることができずご遺体とも対面することのできなかったご家族のみなさま、その緊張感と不安と無力感と無念と、言葉にできないお気持ちが打ち寄せては引いてゆく、そのような繰り返しの中で毎日を過ごされているのではないかとお察しいたします。

　今日は、短い時間の間で、そのお気持ちを受けとめながら、亡くなっていった人を悼む時間をもつためのよりどころとなれることを願って、二つの歌を紹介させてください。

少しの沈黙を挟みますので、その間に浮かび上がってくるお気持ちを確かめて、亡くなっていった人への思いを心の言葉にされて、そうした魂の営みを通して、いのちのつながりが響きあうときが生まれてくれることを願っています。

　最初の歌は仏教で「無常偈」と呼ばれているものです。お釈迦様が亡くなったときに帝釈天が唱えたものであると伝えられています。

アニッチャー　ワタ　サンカーラ

ウパッダ　ヴァヤー　ダンミノー

ウパッジトゥワー　ニルッジャンティ

テーサン　ウーパサモー　スコー

生きてることは　無常の定め

生まれては　死んでゆく

安らぎに　帰せよ

ドゥッカ　ワタ　サンカーラ

ウパッダ　ヴァヤー　ダンミノー

ウパッジトゥワー　ニルッジャンティ

テーサン　ウーパサモー　スコー

生きてくことは　苦楽の繰り返し

出会いと別れ

安らぎに向けて

アナッタ　ワタ　サンカーラ

ウパッダ　ヴァヤー　ダンミノー

ウパッジトゥワー　ニルッジャンティ

テーサン　ウーパサモー　スコー

生きてゆくことは　思いに任せね

現れては消えてゆく

安らぎに還ろう

次の歌は、般若心経を現代的な歌にしたものです。

ギャーテー　ギャーテー　パーラーギャーテー

パラサンギャーテー　ボーディ―スヴァーハ

ゆこう　ゆこう　悟りの岸へ　苦しみのない涅槃の彼方

気づいてみれば　今ここで　その悟りに　生かされていたよ

ギャーテー　ギャーテー　パーラーギャーテー

パラサンギャーテー　ボーディ―スヴァーハ

喜び悲しみ　期待と不安　自分を知るのが一番怖い

ありのまま　見守れば　そのままが　悟りの姿

ギャーテー　ギャーテー　パーラーギャーテー

パラサンギャーテー　ボーディ―スヴァーハ

心と身体　自然と私　出会いと別れ　流れ続けて

浮かんで消える　私という　幻を見守り続けて

ギャーテー　ギャーテー　パーラーギャーテー

パラサンギャーテー　ボーディ―スヴァーハ

ゆこう　ゆこう　悟りの岸へ　苦しみのない涅槃の彼方

気づいてみれば　今ここで　その悟りに　生かされていたよ

私たちのひとり一人が　このひと息一息に生かされています。

いつどのような形で　このひと息が終わるのか　誰にもわかりません。

そんなひと息一息に生かされている今ここを　大切に生きることが

先に逝ってしまった大切な人の思いを引き継いでゆくことになり

とてもつらいこの時期を切り抜けて

次の世代に大切なものをつないでゆくための営みになるのではないかと思っています。

ありがとうございました。